

2023 年度衝撃波シンポジウム概要

1. 会議の名称：2023 年度衝撃波シンポジウム

2. 主催者等名簿：

主催：日本衝撃波研究会

共催（予定）：宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所、東北大学流体科学研究所

後援（予定）：国際衝撃波学会、日本学術会議、日本建築学会、つくば市コンベンション協会

協賛（予定）：応用物理学会、可視化情報学会、火薬学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本建築学会、日本高圧力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本生体医工学会、日本燃焼学会、日本分光学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本流体力学会、プラズマ応用科学会、プラズマ・核融合学会、レーザー学会（五十音順）

2. 会期：令和6年 3月5日（火）、6日（水）、7日（木）

4. 場所：北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

5. 会議の性格と目的：

衝撃波現象および衝撃波が関連する諸現象について、基礎と応用の両面から広く学際的な研究発表を行い、口頭およびポスターによる発表と討論により当該分野の進展を図る。

6. 会議の概要：

(1) 会議内容

衝撃波現象および衝撃波が関連する諸現象についての特別講演3件、一般講演121件（口頭発表96件・ポスター発表25件）を予定している。

(2) 予算：別紙B

(3) 役員および準備委員会

日本衝撃波研究会

会長：久保田士郎（産業技術総合研究所）

2023年度衝撃波シンポジウム実行委員会（次ページ）

2023 年度衝撃波シンポジウム 実行委員会名簿

実行委員会&事務局		所属
実行委員長	坪井 伸幸	九州工業大学
副委員長	赤星 保浩	九州工業大学
幹事	小川 秀朗	九州大学
委員	小澤 晃平	九州工業大学
委員	玉川 雅章	九州工業大学
委員	北川 幸樹	九州工業大学
委員	松井 康平	九州工業大学
委員	平木 講儒	九州工業大学
委員	豊田 和弘	九州工業大学
委員	朝原 誠	岐阜大学
委員	宮里 義昭	北九州大学
委員	仲尾 晋一郎	北九州大学
委員	木原 尚	九州大学
委員	新本 康久	九州大学
委員	谷口 茂	北九州高等専門学校
委員	安信 強	北九州高等専門学校
委員	永井 大樹	東北大学
委員	大谷 清伸	東北大学
委員	山田 和彦	宇宙航空研究開発機構
委員	船津 賢人	群馬大学

(4) 連絡責任者および事務局

責任者 坪井伸幸（九州工業大学大学院工学研究院機械知能工学研究系 教授）

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1

TEL: 093-884-3134

E-mail: tsuboi@mech.kyutech.ac.jp

事務局 2023 年度衝撃波シンポジウム実行委員会

お問い合わせ先 E-mail: M-jssw2023-m1@mech.kyutech.ac.jp

(5) 広報の媒体および対象地域

- ・ 衝撃波シンポジウムの HP (<http://www.jssw.swsoc.jp/jssw2023/index.html>) : 対象地域は日本全国
- ・ ニュースレターのメール配信（日本衝撃波研究会発行）：対象地域は日本全国
- ・ 上記 2 の各協賛学会誌：対象地域は日本全国

(6) 事故防止対策、公衆衛生対策

2023 年度衝撃波シンポジウム事務局の対策に従う。

2023 年度衝撃波シンポジウム内容

2023 年度衝撃波シンポジウムでは、特別講演 3 件（内 1 件は Glass Memorial Lecture Award 受賞記念講演）、研究発表 121 件（口頭発表 96 件、ポスター発表 25 件）の講演を予定している。発表者および聴講者は、大学、研究機関、民間企業において衝撃波研究に携わる者で、学生も含む。参加者数は最大 250 名を想定している。（シンポジウム開催期間 2024 年 3 月 5 日（火）-3 月 7 日（木）、講演募集締切が 2023 年 12 月 15 日、参加登録締切が 2024 年 2 月 16 日のため、講演件数および参加者数は現状では未確定。なお講演者（発表者）については、その性別に偏りがないよう努める。）また、合わせて日本衝撃波研究会幹事会および日本衝撃波研究会総会を実施する。具体的な会議および講演・発表日程を下記に示す。

記

◆ 2023 年度衝撃波シンポジウムスケジュール

・ 1 日目（3 月 5 日（火））（口頭発表 36 件、ポスター発表 25 件、特別講演 1 件）

午前 9:30～10:50 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、ポスター展示・機器展示
11:00～12:20 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、ポスター展示・機器展示
昼食 12:20～13:30 ランチョンセミナー（第 A 会場）
午後 13:30～14:20 特別講演 I
14:30～15:30 ポスターセッションコアタイム
15:40～17:00 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、ポスター展示・機器展示

・ 2 日目（3 月 6 日（水））（口頭発表 36 件、Glass Memorial Lecture 1 件）

午前 9:30～10:50 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、ポスター展示・機器展示
11:00～12:20 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、ポスター展示・機器展示
昼食 12:20～13:30 ランチョンセミナー（多目的室）、日本衝撃波研究会幹事会
午後 13:30～14:00 日本衝撃波研究会総会
14:10～15:00 Glass Memorial Lecture Award 表彰式、Glass Memorial Lecture、
15:15～16:35 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）
18:00～20:00 懇親会

・ 3 日目（3 月 7 日（木））（口頭発表 24 件、特別講演 1 件）

午前 9:30～10:50 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）、機器展示
11:10～12:00 特別講演
昼食 12:00～13:00 ランチョンセミナー（第 A 会場）
午後 13:00～15:00 口頭発表（3 会場×1 セッション、12 件）

※現在、研究発表及び特別講演については、募集調整中である。研究発表は、以下のカテゴリで募集する。

- A 衝撃波の反射・回折・屈折・フォーカッシング（衝撃波伝播）
- B 凝縮・多相媒体中の衝撃波（固体衝撃波、衝撃・衝突現象、圧縮，凝縮系物理学）
- C 極／超音速流と衝撃波（衝撃波と境界層の干渉、衝撃波と渦の干渉、希薄流、非平衡流、高エンタルピー流、超音速噴流、超音速混合）
- D 化学反応／爆発を伴う衝撃波（ブラスト波、デトネーション、燃焼、点火、推進）
- E 衝撃波現象の医学・生物学への応用（衝撃波の医学、薬学）
- F 高速流れおよび衝撃波の可視化・計測（計測技術、流れの可視化）
- G その他、衝撃波関連現象